

都留市パブリック・コメント制度 意見募集結果

案件名： 「つる観光戦略（案）について」

公表日： 令和5年2月1日

意見提出期間： 令和5年2月1日～令和5年2月21日

意見等の提出件数： 提出者 4名、提出件数 15件

意見等の受付方法： 持参 1名、郵便 1名、FAX 0名、メール 2名
7件 3件 0件 5件

項目	意見等の内容	件数	市の考え方
3-3	<p>より実態に即した、また、都留市の資源価値にもより焦点を当てている内容になっていると思いました。</p> <p>滞在型ツーリズム強化に共感しました。私自身の都留市とのかかわりも、最初は富士東部の観光からはじまり、その後、農業支援、そして短期～中期滞在、二地域居住、完全移住への流れでした。とても自然な流れで、地域活性化や地元の方々との相互理解・関係構築にも有効ではないかと感じています。</p>	1	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>既存の体験・体感アクティビティの連携強化と、新たに開発・集約し滞在型ツーリズムを強化することで、交流人口・関係人口の増加を図ってまいります。</p>
6 7	<p>最重要だと考えるのは、城下町ブランド化することが目的となりそうですが、それはあくまで手段であり、本質的な目的は地元業者（観光・宿泊・飲食・アクティビティ）を儲けさせる仕組み作り、地元経済が少しでもよくなることだと思います。</p>	1	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>城下町をブランド化するのは、おっしゃるとおり、目的ではなく、手段です。将来的には、地元の観光事業者が潤うようにしていきたいのですが、本市は現状観光地ではなく、「都留といえば」のオリジナリティが弱く、コンセプトも定着しておりませんので、まずは、観光分野の土台づくりから始めていきます。</p>

<p>6-2</p>	<p>地域経済の目に見えて定量化できる目指すべき成果を主軸にすることが重要だと思います。現時点では目指すべき指標がない、もしくは作りこまれていないように思えます。</p> <p>例えば、売上20%増加を3年以内に達成すること、かつ本取り組みによって客数が増えたと感じる事業者の割合5割以上を3年以内に達成など具体的な期日と目標が必要だと考えます。</p>	<p>1</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>目に見えて定量化できる成果指標を設定することは、地域経済の活性化のために重要ですので、本戦略(P23)に数値目標を設定して追記いたします。</p>
<p>8-1</p>	<p>観光振興公社は本来もっとPRや発信をしていく役割をもつが、現状はそれを遂行するためのリソース(人員)が足りていないという一文に課題が凝縮されているかと思えます。</p> <p>ビジョンに向けて行動し、柔軟に話を聞けるリーダーと打合せ等の組織を運営するスタッフ、市場を分析できるマーケットターが早急に必要だと思います。</p> <p>観光マネージャーは一人では少し困難であると考えます。</p>	<p>1</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>戦略推進体制へのご意見としていただいた組織づくりについては、観光戦略に基づく施策を達成するため、市内の観光事業をけん引する観光地域づくり法人の設立を目指すとともに、業務を遂行する専門人材の確保に努めていきます。</p>
<p>8-2</p>	<p>DMOでは意思決定と実行性のスピード感を担保することが重要ではないかと思えます。</p> <p>全国で機能していないDMOも多くあるため、適切な規模の組織や実行力のあるメンバーがいるか、足を引っ張るメンバーがいないか、そのあたりが重要になるかと</p>	<p>1</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>ご意見のとおり、戦略推進体制を強化するためには、観光地域づくり法人の組織づくりが重要ですので、地域の関係者が主体的に参画した体制の構築に向けて調査・研究及び支援を実施していきます。</p>

	<p>考えます。</p> <p>個人的には 10 名規模くらいがよいのではないかと思います。</p> <p>5 名規模だと、内輪間が強くなりすぎる点、欠席者がいる場合に進まない点があり、15 名以上だと意思決定に時間がかかるすぎ、会議に無駄が生じるためです。</p>		
4-4	<p>市名を「都留市」から「つる市」へ変えること。</p> <p>広報つる、生涯活躍の町・つる等で周知を図っているが、県外の者は「都留」を「つる」と読めない。</p> <p>一番初めに取り組む課題である。</p>	1	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の施策・事業推進の参考とさせていただきます。</p>
7-4	<p>蒼竜峡・おなん淵散策ルートの開発。</p> <p>この周辺に遊歩道を設置して田原の滝まで散策ルートの開発。</p> <p>団地空き地から桂川に展望台を建設。</p> <p>現在廃墟となっている雇用促進住宅を飲食店や土産物店などで再活用する。</p> <p>富士山の噴火が予想されその対策も叫ばれる中、大噴火により蒼竜峡が溶岩流により形成されたということで児童、学生への教育の一環としても効果が期待できる。</p>	2	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>本戦略(案)では、「観光資源活用戦略」において、十日市場・夏狩湧水群を利用した観光客の誘客のほか、フットパスを活用した観光ルートの再整備や河川を活用したレジャー・アクティビティの開発について記載しております。</p> <p>ご意見いただいた蒼竜峡周辺の遊歩道整備については、蒼竜峡が山梨県の管理する 1 級河川(桂川)区域内にあるため、管理上の問題から、また、展望施設については、河川区域外においても眺望のとれない状況にあることから、設置が難しいところであります。</p> <p>しかしながら、蒼竜峡のように自然が作り出した美しい造形は、本市の重要な観光資源の一つですので、観光パンフレット等で今後も蒼竜峡の魅力を周知していきます。</p>

7-4	<p>楽山公園</p> <p>このあたりの新緑、紅葉はすばらしい。駐車場も整備されており、駅からのアクセスもよい。うぐいすホールでの休憩や食事などの提供を行う。</p>	1	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見を参考にしながら、本市の魅力の一つである自然環境を観光資源として活用し、滞在型観光の推進に努めていきます。</p>
7-4	<p>都留市のキャンプ場を紹介する。</p> <p>一位の宿の活用。</p>	2	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>キャンプ場やコテージ、グランピング施設等は本市の強みであり、滞在型ツーリズムには欠かせない要素と認識しておりますので、広く周知していきます。</p>
7-4	<p>観光プログラム（寺社・仏閣がもつ歴史文化的価値活用）寺院を対象としたスタンプラリーを実施し、市役所へ提出した人に記念品を贈呈する。</p> <p>寺院において、精進料理・懐石料理のメニューを提供する。市内飲食店と連携し、お茶・和菓子などのメニューを用意する。</p> <p>（参考）埼玉県飯能市にある竹寺では精進料理・懐石料理を提供している。</p>	2	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>40を超える寺社等を有する本市ならではの観光施策の実施も検討していきます。</p>
7-4	<p>ドローン競技大会の開催（開催場所：楽山球場あるいはやまびこ競技場）。</p> <p>地域おこしの一環として開催する。</p>	1	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>地域おこしの一環として開催が可能となるか、検討していきます。</p>
7-2	<p>非耕作地の解消と市外地からの観光客・住民の呼び込み。</p> <p>クラインガルテンの実施。</p> <p>富士山周辺の観光地に近いという利点を活かし、道の駅や</p>	1	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>耕作放棄地等の利活用は、本市としても積極的に取り組んでいきます。</p>

<p>他地域に宿泊施設を整備し、地域住民等の指導により農業（家庭菜園）に親しむ。</p> <p>※クラインガルテン ドイツで盛んな200年の歴史をもつ農地の賃借制度。 日本では「市民農園」「滞在型市民農園」とも呼ばれる。</p>		
--	--	--